

2020年度 運輸安全マネジメント実施概要

1、運輸安全マネジメントの取り組みについて

(1) 輸送の安全に関する基本方針について

- ① 人命を預かる「旅客自動車運送業」のプロフェッショナルとして、法令を遵守し、輸送の安全を確保するため最善を尽くします。
- ② 旅客自動車運送業としての専門性を磨くとともに、人間力の向上に努め、お客様に安全で快適なサービスを提供します。
- ③ 効率的な安全管理体制の確立に誠実に取り組みます。

(2) 安全に関する基本施策

- ① 輸送の安全に関する方針を社員に周知徹底します。
- ② 安全管理規定、関係法令を遵守します。
- ③ 安全目標を設定し、社員全員で目標達成のために行動します。
- ④ 安全性の向上に必要な教育・体制・設備を積極的に取り入れます。
- ⑤ 輸送の安全に関する方針は、適宜見直しを行います。
- ⑥ 輸送の安全に関する情報について積極的に公表します。

(3) 安全マネジメントの取組みは毎事業年度策定し、PDCA を確実に実行し、全社員が一丸となって輸送の安全の確保に努めます。

2、目標達成状況

(1) 2019年度の目標達成状況

事故種別	目標	実績
① 重大事故	0	0
② 有責事故	0	0
③ 車内事故	0	0

④ 飲酒・酒気帯び	0	0
⑤ 自損事故	0	5

残念ながら軽微な単独事故が5件発生しました。

(2) 2020年度の目標

事故種別	目標	実績
① 重大事故	0	0
② 有責事故	0	0
③ 車内事故	0	0
④ 飲酒・酒気帯び	0	0
⑤ 自損事故	0	0

※2019年度の反省から、特に車両後進時の事故を無くすことに取り組めます。

3、自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

2019年度 該当事故 0件

4、安全管理規定

別紙添付

5、2019年度の行政処分

2019年度 行政処分なし

6、輸送の安全のために毎年講じている措置

- ① 自動車事故対策機構による毎月の乗務員指導教育
- ② 健康診断(観光バス運転者は年2回実施)
- ③ 睡眠時無呼吸症候群の検査

- ④ 脳ドック(MRI)検査(2年毎)
- ⑤ 避難誘導及び救急救命訓練
- ⑥ タイヤチェーン着脱訓練
- ⑦ デジタルタコメーターによる安全運転指導
- ⑧ ドライブレコーダを使用した安全運転指導
- ⑨ 運転適性検査(2年毎)
- ⑩ 乗務員との個人面談(健康状態把握や意見収集)

7、2019年度に講じた措置

前述6の他に実施した措置

- ① 貸切バス事業者安全性評価認定★★★取得
- ② ASV(先進安全自動車)導入 大型バス(No.112)1台
- ③ タイムカードを導入した労務管理
- ④ 社労士と顧問契約締結
- ⑤ IP無線を導入。運行管理に活用
- ⑥ 自動車事故対策機構(NASVA)による模擬監査の実施
- ⑦ 乗務員による乗務員のための実技訓練

8、2020年度 目標達成のための施策

- ① 前述6を2020年度も継続して実施する
- ② 乗務員の労務及び健康管理
- ③ 運行管理体制の見直しと運行管理者のスキルアップ
- ④ 運転者の適性や運転経験に応じた指導教育(安全確認に重点)
- ⑤ 接客マナーの徹底
- ⑥ 輸送の安全確保に関する投資を積極的かつ効率的に行う
- ⑦ ASV(先進安全自動車)導入 大型バス1台
- ⑧ 自動車事故対策機構(NASVA)による模擬監査の実施

2020 年度 安全に関する予算7,000,000円(車両購入費以外)

9、内部監査の実施状況

安全管理規定第 15 条に基づき 2019 年 12 月 11 日実施

8、その他

乗務員からの意見により 2020 年度に講じる措置

- ① 乗務員のミーティングを実施しドライバー目線で問題点を話し合う
- ② 乗務員の実地研修を充実させる
- ③ 運行管理体制の役割分担と指揮命令系統を明確化にし社員に周知
- ④ 乗務員の教育担当者を選任
- ⑤ 乗務員の名刺作成
- ⑥ 乗務員同士による安全運転技術指導を実施
- ⑦ 挨拶やお客様への注意喚起などの接客訓練

2020年3月30日

とよま観光バス株式会社

代表取締役 千葉 哲哉

安全統括管理者 鈴木 重敏

運行管理者 山内 正弘

運行管理者 沼津 努

運行管理者 白鳥 浩行